

あすむ 明日に向かって

■ 楽曲データ

歌詞：竹田えり 作詞

楽曲：綱澤僚 作曲

発表：浄土真宗本願寺派少年連盟 1989年

初演：－

初出：－

管理番号：M1937

■ 創作の経緯

浄土真宗本願寺派少年連盟のテーマ曲として、同連盟からの要請により仏教音楽研究所が企画・制作。1989（平成元）年2月完成。テイチクからシングルCDが発売された（TEDR-10001）。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第4巻収録

底資料：『浄土の音楽集成 仏教讃歌6 明日への讃歌』 同朋社出版 1994年

比較資料：『佛教音楽』第30号 仏教音楽研究所 1994年

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

この曲は、ビートのきいた躍動感あふれる明るい仏教讃歌です。宗派内にとどまらず、和歌山県田辺市の第一小学校では運動会や卒業生の送別会などで使用されました。また、富山県宇奈月町の「雪ん子劇団」では、劇団のテーマソングとして歌われていました（雪ん子劇団は2015年に解散）。

◆ 作者について

作詞の竹田えりさんは、兵庫県の出身で、小学生の頃から作曲活動を始めました。宗門校である京都女子高校に学び、宗教委員も務めました。16歳の時「沖縄海洋博」のイメージソングを作詞・作曲し、レコードデビューしました。同時に、CMソングなどの仕事も始めています。仏教讃歌では、灌仏会のイメージソング《春あなたに》を作詞し、自ら歌っています。

作曲の綱澤僚さん（1960～）は、大阪生まれで、関西を舞台に活躍中の作曲家です。小学生の頃から音楽理論や作曲法を学び、高校卒業後シンセサイザーに興味を持ちました。1982（昭和57）年、西宮市連合体育大会の音楽を作曲したのをきっかけに、プロとしての活動を開始しました。NHK番組「歴史街

道」のテーマ曲なども手掛けています。親しみやすいリズムとメロディの反復が特徴です。仏教讃歌《ひかりあふれて》も彼の作曲です。

◆詞について

詞のなかには、どこにも仏教用語は出てきません。それでいて、阿弥陀如来の本願のはたらきを的確に表しています。

如来さまは、いつも私たちのことを見守ってくださっています。優しいまなざしを向け、私たちをあたたかくつつみこんでくださいます。そして、私たちは決して一人ではないことを教えてください。そこに、明日に向かって生き抜いていく勇気と智慧が恵まれます。

——といった説明も不要なほど、本当に理解しやすい言葉で作詞されていますので、繰り返し読んでみてください。

◆歌い方について

①曲全体を通して、シンコペーション（強拍・弱拍の位置関係を変えて、リズムに緊張感をもたせること）がたくさんでてきます。ぎくしゃくしないように、軽やかに歌いましょう。

②発音は歯切れよく。

③34・39・50小節には、3連符がでてきます（2拍を3分割する）。2分音符を1拍と感じて練習してみてください。

④19小節目1拍目の付点2分音符のところでは、「お」と言い直します。

⑤30・32小節目は、シンコペーションに気を付けて練習してください。タイの後の付点4分音符が遅くならないように。

⑥37小節目から、50小節目「向かって」まで、だんだんと気分を盛りあげていきましょう。

◆用途

日曜学校、子ども会ではもちろんのこと、仏婦・若婦の例会などでも積極的にとりあげてください。

解説執筆：大分哲照（御堂演奏会指揮者 福岡教区西嘉穂組明圓寺住職）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 21（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第146号収録）を加筆・修正のうえ、転載。